日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	高度資格対策 3
科目基礎情報				
開設学科	建築学科	コース名		開設期 後期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	詳解2級建築施工管理技術検定過去6回問題集／2級建築施工管理技士学科テキスト			
担当教員情報				
担当教員	長島茂	実務経験の有無・職種	有・施工管理	
学習目的				
2級建築施工管理技士の学科試験合格のために、過去問の演習を繰り返し行い、問題の出題傾向・各自の不得意分野を知り、全解答数の75%以上を正解することができるようになることを、高度資格対策3の学習目的とする。				
到達目標				
次の2点を到達目標とする。 ①全50問から得意分野で40問を選べる。 ②40問解答した中で75%以上正解できるようになる。				
教育方法等				
授業概要	過去に出題された問題を繰り返し解くことで、出題傾向を知るとともに、解説を何度も読み込み、理解度を深める。解答は問題集に書き込まず、別途配布のマークシートに行い、同じ問題を何度も解答できるようにする。			
注意点	過去問を解く時は、配布したマークシートを使用し、問題には書き込みをしないこと。また、答え合わせをする際には、必ず解説を読みながら行うこと。解説を読んだだけでは理解できない時には、2級建築施工管理技士学科テキストで調べる。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定することができない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	80%	技術検定試験の結果を重視する。	
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	過去問演習①	過去問を通して問題の傾向を知り、60%以上正解することができる。		
2回	過去問演習②	過去問を通して問題の傾向を知り、60%以上正解することができる。		
3回	過去問演習③	過去問を通して問題の傾向を知り、65%以上正解することができる。		
4回	過去問演習④	過去問を通して問題の傾向を知り、65%以上正解することができる。		
5回	過去問演習⑤	過去問を通して問題の傾向を知り、70%以上正解することができる。		
6回	過去問演習⑥	過去問を通して問題の傾向を知り、70%以上正解することができる。		
7回	過去問演習⑦	過去問を通して問題の傾向を知り、75%以上正解することができる。		
8回	過去問演習⑧	過去問を通して問題の傾向を知り、75%以上正解することができる。		
9回	過去問演習⑨	過去問を通して問題の傾向を知り、80%以上正解することができる。		
10回	過去問演習⑩	過去問を通して問題の傾向を知り、80%以上正解することができる。		
11回	過去問演習⑪	過去問を通して問題の傾向を知り、85%以上正解することができる。		
12回	過去問演習⑫	過去問を通して問題の傾向を知り、85%以上正解することができる。		
13回	過去問演習⑬	過去問を通して問題の傾向を知り、85%以上の得点することができる。		
14回	模擬試験①	新しい問題でも、70%以上正解することができる。		
15回	模擬試験②	新しい問題でも、75%以上正解することができる。		